

令和4年度第1回

## 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会

### 【会議次第】

1 会長・副会長選出

2 議題

筑紫氏館跡地区の発掘調査について(現地視察)

3 その他

■日時 令和4年10月12日(水) 13:10~16:30

■会場 鳥栖市役所 1階第2会議室

鳥栖市教育委員会

## 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会委員名簿

(敬称略)

氏名	専門分野	所属・役職	備考
市村 高男	中世史	高知大学名誉教授	再任
薛 孝夫	植生誘導 森林生態	元九州大学大学院准教授	再任
磯村 幸男	文化財行政	元文化庁主任調査官	再任
堀本 一繁	中世史	福岡市博物館学芸員	再任
岡寺 良	考古学	九州国立博物館企画主査	再任
末次 大輔	土木工学	宮崎大学教授	再任
永渕 益雄	地元代表	勝尾城史跡を守る会	新任

○任期 令和4年7月1日～令和6年6月30日(2年間)

## (1) 筑紫氏館跡地区の発掘調査について

### 【調査の目的】

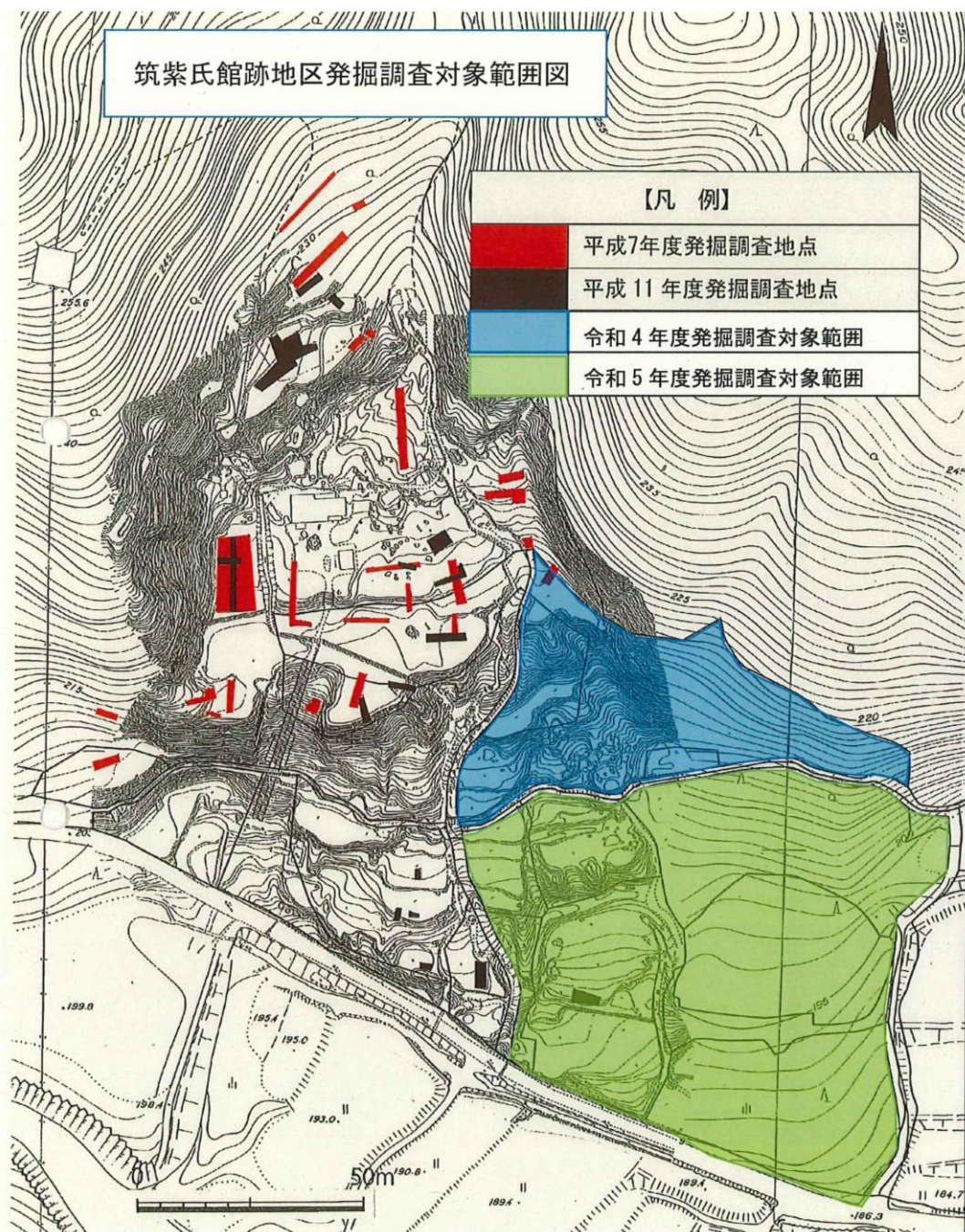
今回の発掘調査の目的は、これまで未解明地である館南東地区の遺構状況の把握を行う。

なお、新たに遺構が検出された場合は、その保存方法も含めて将来の史跡整備に反映していく。

### 【調査に至る経緯】

筑紫氏館跡地区の発掘調査は、平成7・11年度に国庫補助事業で実施しているが、館南東地区一帯は、当時は私有地であったため、トレンチを十分に設定できず4カ所の調査にとどまっている。

その後、平成29年度に館南東地区を公有化し、雑木の伐採や下草刈等を行い、周辺を踏査したところ、通路や虎口と思われるような箇所が表面観察できるようになった。



# 筑紫氏館跡地区発掘調査計画図



至 勝尾城

館主要部

平場③

虎口B

切岸

平場②

石垣

平場④

平場①

平場

平場

土塁

石垣

虎口A

0 2 10 30 40m

→ 主要通路

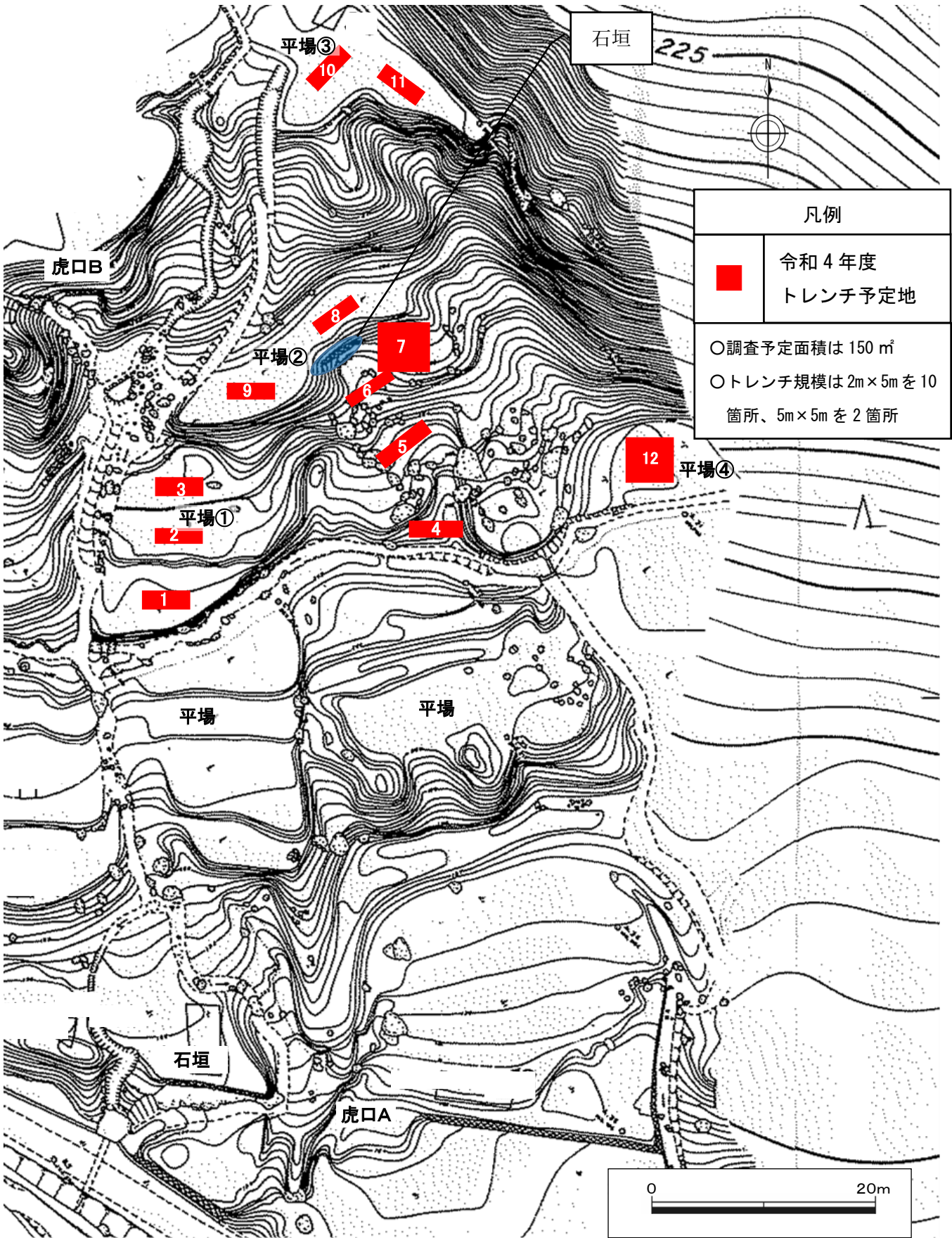
- - - - - 想定される通路

## 令和4年度筑紫氏館跡地区発掘調査トレンチ計画

- 1 調査対象面積：2,473 m<sup>2</sup>（調査予定面積：150 m<sup>2</sup>予定）
- 2 トレンチ規模：2m×5mを10箇所、5m×5mを2箇所設の12箇所を予定
- 3 調査予定期間：令和4年10月下旬～12月下旬

トレンチNo.	調査目的	トレンチ規模	資料頁
1～3	南に墨段上に延伸する平場①の状況の把握	2m×5m	6
4～6	現況で、通路的な様相がうかがえる窪みがあり、石段状？も認められるため、その状況の把握	2m×5m	7・8
7	石垣から東に折れる部分が一段低く、虎口の可能性があるため、その状況の把握	5m×5m	9
8・9	平場①の北に隣接し、虎口Bと近接する南西方向に延伸する平場②の状況の把握	2m×5m	10
10・11	平場②から北に約15m離れ、調査対象地内では一番高所に位置する平場③の状況の把握。 平成11年度に、平場③の北端部でトレンチ調査を行ない、瓦が出土している。	2m×5m	11
12	長軸約9m、短軸約4mの平坦面は、筑紫氏が四阿屋神社から勧請した勝尾神社跡地と伝えられる。地表面には瓦片や陶磁器片が認められるため、平場④の状況を把握する。	5m×5m	12

筑紫氏館跡地区発掘調査トレンチ予定位置図





勝尾城筑紫氏遺跡全景（南東上空から）



筑紫氏館跡地区全景（上空から）白破線が調査対象地

















### 3. その他

#### (1) 啓発普及について

##### ①教育委員会

遺跡全体を網羅できるドローンによる動画撮影を行い、撮影した動画は鳥栖市ホームページで公開した。

<https://www.city.tosu.lg.jp/soshiki/26/40131.html>

##### 【内容】

- ア 勝尾城筑紫氏遺跡の全体
- イ 谷筋～館跡～ 勝尾城
- ウ 各支城



##### ②鳥栖観光コンベンション協会

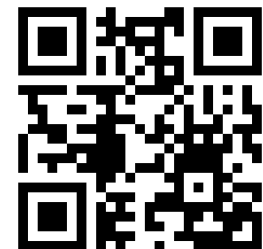
##### ア 動画制作・公開

勝尾城を観光目線で紹介する動画を制作。CG等を用いて紹介されている。作成された動画は協会ホームページで公開されている。

<http://www.tosu-kanko.jp/pg65.html>

##### 【内容】

- 勝尾城の紹介
- 筑紫春門と川上左京亮の一騎討ち
- 勝尾城に咲く「サクラツツジ」



勝尾城 You Tube

##### イ 等身大パネル・幟旗の設置

鳥栖駅・新鳥栖駅・公共施設に筑紫春門の等身大パネルや幟旗が設置されています。

